

－主任研究者研究経歴書の記入について－

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を主任研究者研究経歴書（様式1）に記入し提出してください。

なお、主任研究者は研究実施場所ごとに登録が必要です（共同提案の場合、提案者ごとに最低1名は登録が必要です）。また研究員が主任研究者を兼ねることも可能です。

【記入にあたっての注意点】

①研究開発経歴（現職含む）：

（ア）「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

②受賞歴、当該研究開発に関する最近5年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

（イ）当該研究開発プロジェクトに関する研究成果を記載してください。

（ウ）研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

※ 「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくともこれらのうち1つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これらがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。

主任研究者 研究経歴書

氏名	HAFIZ ABDUL GHANI ABDUL RAHMAN									
フリガナ	ハフィズ・アブドゥル・ガニ・アブドゥルラフマン									
生年月日（西暦）、年齢	1983年5月20日（42歳）									
所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁） (所属研究機関の研究代表者は必須。代表者以外は不明または保有していない場合は省略可)	6735018616									
e-Rad研究者番号（8桁） (所属研究機関の研究代表者は必須。代表者以外は不明または保有していない場合は省略可)	61034872									
所属	AWL 株式会社									
部署名	イノベーション・R&D 部門 [Innovation & Business Development]									
役職名	Innovation & Business Development Lead									
所属機関の研究者代表 (該当：1 非該当：2)	2									
最終学歴	福井大学									
学位	博士（工学）									
学位取得年（西暦）	2014年									
研究開発経歴（西暦 ※現職含む）										
年	～	年	研究開発内容							
2004		2007	日本およびUAEにおいて、画像処理・コンピュータビジョン分野の基礎研究および実務経験を積む。複数教師ニューラルネットワークを用いたハンズオフシステム認識の研究に従事。							
2008		2011	福井大学大学院 人間・人工知能システム専攻 研究生課程。汎用ロボットビジョンおよび生体模倣型視覚システムの研究開発に従事。							
2011		2014	福井大学大学院 システムデザイン工学専攻 博士課程。アクティブラビジョン、深層学習、3次元認識を用いた生体模倣型ロボット視覚の研究を実施。動物の神経活動（カルシウムイメージング）解析との共同研究にも従事。							
2016		2017	東京大学、松尾研究室にて産学連携プロジェクトで深層学習・視覚認識技術の研究開発を担当。医療・産業分野向けAIアルゴリズムの開発および学生指導を実施。							
2017		2018	Universal Robot Co., Ltd. にておよびシンガポール向け画像認識・人物認証技術の研究開発に従事。							
2018		2023	ExaWizards 株式会社にてエッジAI およびコンピュータビジョン技術を用いたPoC および製品化研究を主導。							
2019		現在	Wanda AI (UAE) 創業者兼CEO。アクティブラビジョンおよび人物認識技術の研究開発、国際特許取得、政府向けAIシステムの実装を推進。							
2025			AWL 株式会社にて General AWL Engine SDK およびマルチカメラ・マルチ人物追跡システムの研究開発、評価、実用化検証を担当。							
受賞歴（西暦 ※年月）										
年	月		主催者名	表彰制度名称	受賞名称	受賞件名	備考			
2011	4		日本政府（文部科学省）	MEXT 博士課程奨学生	採択	福井大学博士課程奨学生				
2009	10		日本政府（文部科学省）	MEXT 修士課程奨学生	採択	福井大学修士課程奨学生				
2004			日本政府（文部科学省）	MEXT 交換留学奨学生	採択	日本への交換留学生奨学生				
2001			UAE 政府	Hilal Al Ahmar 奨学金	採択	大学学部の授業料全額奨学生（高 GPA）				
当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下）						備考				
論文	発行年	月	主な著者1	著者2	著者3	表題	論文雑誌名	巻 (Vol.)	号	備考
研究発表	発表年	月	主催者名	イベント名	発表者	発表タイトル				備考
	2025	5	東京都（Tokyo Metropolitan Government）	Sushi Tech Tokyo 2025	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Startup & Innovation Showcase with UAE Delegation				
	2023	10	Dubai World Trade Centre	GITEX Global 2023	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Large-scale Face Identification on Edge Devices for Government Applications				
	2023	10	AWS Startup Loft Tokyo / Dubai Chamber of Commerce	AWS Startup Loft Tokyo (15-16 Oct 2023)	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Participation in UAE startup delegation; Expand North Star briefing				
	2023	3	Dubai Police / UAE Government	World Police Summit 2023	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	AI-based Face Identification and Tracking System for Law Enforcement				
	2023	2	UAE Armed Forces	IDEF / NAVDEX 2023	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Wide-area Surveillance and Active Vision AI System				
	2023	1	Messe Frankfurt Middle East	INTERSEC Abu Dhabi 2023	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Intelligent Video Analytics and Face Recognition for Critical Infrastructure Security				
	2022	10	Dubai World Trade Centre	GITEX Global 2022	Hafiz Abdul Ghani Abdul Rahman	Bio-inspired Active Vision Camera System (Sharp Vision)				
特許等	出願年	月	日	出願番号	登録番号	発明等の名称				備考
	2022			P6002246/2022		Active Vision System for Achieving Sharp Vision				
	2019	10	20	AE W02020075147		Intelligent Vision System and Methods				
	2018			P210031P00		Human Tracking Optimization (1)				
	2018			10221P0010221P00		Human Tracking Optimization (2)				
	2020			P200361P00		Best-Shot Extraction Pipeline				

その他	年	月	タイトル	自由記述	
				UAE および日本における主要なセキュリティ・公共安全・スタートアップ関連展示会および政府関連イベントにて、顔認証・人物追跡・アクティビティ・AI 技術の研究成果を継続的に発表・展示。	
2022 - 2025			展示会・政府イベントでの研究成果発表 (UAE・日本)		

本研究開発プロジェクトにおける役割

研究開発等実施体制の審のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。